

国際エコツーリズム協会によれば、エコツーリズムは「環境を保護し、地元住民の幸福を維持し、自然への理解と教育をもたらす自然地域への責任ある旅」と定義されている。みなかみ町におけるエコツーリズムの取り組みは、谷川岳（たにがわだけ）エコツーリズム推進協議会が担っている。2010年には、みなかみ町の自然資源を守り、活かし、広めることを目的とする谷川岳（たにがわだけ）エコツーリズム推進協議会が設立された。同協議会が運営するエコツアーでは、周辺の自然を観察したり、動植物や自然現象を調べたりするツアーや、山やみなかみの歴史を紹介するツアーなどがある。エコツアーや宿泊、飲食料金が割引になるなど、1週間にわたって様々なイベントが行われる谷川岳ウィークが、毎年「谷川岳の日」（7月2日）と山開き（7月の第一日曜）に合わせて行われている。このイベントの一環として、訪れた人たちは天神平（てんじんだいら）や一ノ倉沢（いちのくらさわ）、山麓などをハイキングしながらこの地域の環境について学ぶことができる。これらの取り組みによって、みなかみ町と谷川岳エリアを訪れる人や宿泊客の数は増加している。

1月には、スノーシューフェスティバルの一環として、谷川岳山麓でパウダースノーを体験するガイドツアーが開催されるほか、2013年からは毎年8月に、エコツーリズム推進協議会の指導のもと、45名を超えるボランティアが侵入種であるオオハングソウの除去活動を行っている。また、常時、関係者が参加して、自然環境の変化等を記録し、自然環境の保全に活かす取組を実施している。